

あゆみ

1976年6月7日、日本科学者会議北海道支部常任幹事会主催で、講演「婦人研究者懇話会」（川合葉子さん／京大教養部）が北大薬学部で開かれました。これは、1975年（国際婦人年）8月科学者会議・婦人研究者連絡会議の呼びかけで、「婦人研究者全国シンポジウム」が開催され、これを受けて76年開かれたものです。懇話会を機に北海道でも「婦人研究者」の組織を作ってはどうかという動きが生まれました。準備期の中心は矢島昭予さん（当時北大理学部）でした。

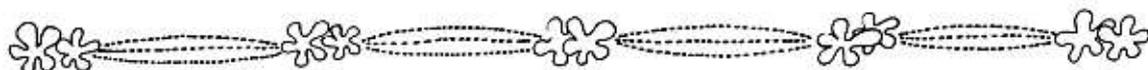
以下敬称略。所属は当時所属していた機関（名称も当時のまま）です。

日付	例会	催しなど		通信 no.
		講演・談話内容、講師・話題提供者、役員など	場所	
1976. 8. 28	2	小森田精子(阪大教養)「学術会議勧告案」	北大薬学部	
12. 11	3	大野鑑子(北大理)、佐々木喜美子(北大理)「研究者としての歩み」 (会員約60名)	北大薬学部	
1977. 6. 25	4	名簿集約、会の仮称「北海道婦人研究者問題連絡会」 「北海道婦人研究者連絡会議」 事務局北7西7岡野アパートに設置 (会員73名)	北大薬学部	
7. 30-31		全国シンポに落合滋子(北大医)参加		
9. 8		「道婦研通信」創刊、通信編集：小林身哉(北大歯)		NO. 1
9. 12		正式名「北海道婦人研究者連絡会」		NO. 2
10. 1	5	[事務局:落合滋子(北大医)] 布施晶子(札幌商科大)「婦人研究者の現状」	北大薬学部	
1978. 2. 10				NO. 3
2. 26	6	芝田和子(名寄女子短大)「短大に来て思うこと」	北大薬学部	
6. 15				NO. 4
7. 22	7	笠井美智子(札幌医科大)「スモン薬害」	札幌医科大	
12. 15				NO. 5
1979. 1. 18	8	初ガ・カ・グァ (本学医科大)	百年記念会館	
1. 24		informal meeting「坂東さん(京都大)を囲んで」	百年記念会館	
5. 20				NO. 6
7. 14	9	沖藤典子「専門職の女たち」	北大教育学部	
11. 9				NO. 7
11. 24	10	奥山春枝(北大免疫研)+横沢紀子(北大医)「外国における研究生活」	北大薬学部	
1980. 1. 20				NO. 8
2. 2	11	森美和子(北大薬)「学術奨励賞を祝う会」	百年記念会館	
4. 10				NO. 9
5. 23				10
6. 21	12	西堀ゆり(北大教養)「新しい英語教育をめざして」 +小林身哉(北大歯)「アメリカの婦人研究者の運動見聞」		
1980. 7. 5		講演「女・家庭・仕事」(広中和歌子)の後援	市民会館	
10. 21		[事務局:森谷繁(北大教育)]		11

日付	例	講演・談話内容、講師・話題提供者、役員など	場所	通信
1981. 3		「北海道の婦人研究者」発行(1000部)		
4. 23				12
5. 16	13	岡田淳子(北大文)「移動生活の中から」	北大薬学部	
6. 19				13
7. 14				14
7. 22		「猿橋勝子さんを囲む会」	百年記念会館	
8. 5	14	中谷紀子(教育大)「家庭科教育と私」 +後藤美智子「在宅研究者として」	クアーク・キャラ亭	
11. 21	15	千葉恵美子(北大法)「レニングラード大における研究生活」		
1982. 1. 15				15
2. 8				16
2. 27	16	佐々木喜美子(北大理)「研究生活をふりかえって」	百年記念会館	
5. 25				17
8. 13	17	小出真美(名寄女子短大)「子育てと保育運動と保育研究と」	クアーク・キャラ亭	
11. 17				18
1983. 4. 20				19
5. 21	18	神力就子(道工業開発試験所)「やっと組織の中を自然体で」	北大薬学部	
7. 25				20
8. 13	19	小林身哉(北大歯)「道婦研連と私」	寿司の正本	
8. 27-28		第5回全国シンポ参加：星川+森谷+岸		
11. 21		[事務局：岡田淳子(北大文) 通信編集：森谷繁(北大教育)]		21
12. 3	20	保原喜志夫(北大法)「男女雇用平等法をめぐって」	百年記念会館	
1984. 3. 5				22
3. 19	21	岡田淳子(北大文)「女性学の現状と課題」	古河講堂	
6. 1		[通信編集：紙谷雅子(北大法)]		23
7. 7	22	関谷嵐子(教育大)「私の住宅問題研究」	百年記念会館	
11. 1				24
11. 17	23	各地交流会	札幌会館	
1985. 3. 5				25
3. 23	24	岸玲子(札幌医大)「女性と科学研究—現状と未来への提言」	百年記念会館	
5. 25		ミニ例会「松原純子さんを囲んで」	百年記念会館	
6. 1				26
6. 15	25	荒又明子(北大触媒研)「化学者として日頃考えていること」	百年記念会館	
10. 28				27
11. 16	26	大野鑑子(北大理)「物理学を志して」	札幌会館	
1986. 3. 1				28
3. 15	27	松岡悦子(北大学術振興会奨励研究員)「出産の文化人類学」	北大薬学部	
7. 1				29
7. 12	28	村崎恭子(北大言語)「日本語教育」	クアーク・キャラ亭	
11. 15				30
11. 29	29	山東せつ子(北大農)「女の家政学部」	百年記念会館	

日付	例	講演・談話内容、講師・話題提供者、役員など		通信
1987. 5. 1				31
5.30	30	森谷 繁(北大教育)「在カナダ ストレス-適応」研究を終えて」	百年記念会館	
9. 1				32
9.12	31	落合滋子(北大免疫)「女子学生たちの四半世紀後」	百年記念会館	
12. 5	32	奥村晶子 「精神科から見た親子関係」	百年記念会館	
1988. 3. 1				33
3.12	33	五十嵐八重子(北大教養非常勤)「私の研究史」	百年記念会館	
4.23		第1回女子学生・院生のためのガイダンス 講師：神力就子	北大機器分析	
8. 1		[事務局:落合滋子+西堀ゆり+森谷 繁 通信編集:安住薫+紙谷雅子		34
8.27	34	長田洋子+ 山田恵子(札幌医大)「基礎医学の女性達はいま」	クラク・キャラ亭	
11. 1				35
11.19	35	佐藤順+石村桜「私立大学における研究活動」	カフェ・パヴェル	
1989. 3. 3				36
3.18	36	井上和子「フェミニスト文学-女として文学を読む」	百年記念会館	
4.15		第2回女子学生・院生のためのガイダンス 講師：神力就子	北大薬学部	
7. 8		[事務局:西堀ゆり(北大言語文化)]「代表を置くことを検討」		37
7.27	37	有賀夏紀「アメリカ女性史研究の発展について」	クラク・キャラ亭	
10.15				38
11.11	38	「地方大学での研究と教育」函館にて開催 世話人：中屋紀子	大黒屋旅館	
1990. 3. 1				39
3.24	39	岡田淳子(道東海大)+佐藤順+武智春子(東日本学園大) 「私立大学出の研究活動」	クラク・キャラ亭	
4.21		第3回女子学生・院生のためのガイダンス 講師：神力就子		40
7. 5				
7.20	40	「アンケートによる女医に対する意識調査」 あひるの会	クラク・キャラ亭	
11. 1				41
11.16	41	山東せつ子(北大農)「現代っ子女子学生の食生活」 +藤井純子(光塩短大)+小林則子(天使短)「栄養士養成大学の周辺」	クラク・キャラ亭	
1991. 2. 15				42
3.15	42	紙谷雅子(北大法)「フェミニズムと法学」	クラク・キャラ亭	
4.20		第4回女子学生・院生のためのガイダンス 講師：神力就子		
7.12		[代表:岡田淳子]		43
7.26	43	森美和子(北大薬)「物を作ることに魅せられて」	北大法学部	
1992. 1. 8				44
1.18	44	15周年記念パネルディスカッション「女性研究者のかかえる問題」	クラク・キャラ亭	
7. 1				45
7.16		新國三千代「私が歩んだコンピュータの世界、そして？」	クラク・キャラ亭	
10.27		[通信編集:嶺野幸子(北大経済)]		46
11.15		「世界情勢を知る-婦人研究者の眼で」 神力就子+森美和子+関道子	KKR札幌	

		講演・談話内容、講師・話題提供者、役員など		通信
1993. 3.10				47
3.26	46	広瀬玲子(北海道情報大)「女性史との出会い」	クーク・キャラ亭	
4.26		第6回女子学生・院生のためのガイダンス: 浦上敦子+沢田美智子+宮下妙子	北大教養部	
7.10		事務局:新國三千代		48
11.10	47	中道仁美(静修女子大)「はじめまして」+林美枝子「ジェンダー論との出会い」+浦上敦子(道農業試験場)「女性研究者の現状」	かでの2.7	
1994. 1.20				49
5.13	48	岡田淳子「無文字文化と文明の接触—北太平洋地域について」	かでの2.7	
1994. 8.20				50



☆☆☆ 第49回例会のご案内 ☆☆☆

「フェミニズムさまざま」

講師: 中道 仁美 (静修女子大)

日時: 1994年9月16日(金) 午後6時から

場所: かでの2・7女性プラザ

7月5日の世話人会は話が盛り上がり、時のたつのも忘れたのですが、その席上中道さんから「マルフェミ」なる言葉が発せられました。「なにそれ」と一同声をそろえたところ「マルクス主義フェミニズムを略して言うのよ。上野千鶴子もそうよ」という答、「フェミニズムっていろいろあるんだ」と一同妙に感心、「ではこの次にその話を」ということになったわけです。

例会の後、短時間「世話人会」を行います。

